

マイクロフォン

「新青年」一九二六年二月

国枝史郎

青空文庫

啓蒙的描写論、そういう物だつて必要である。一作に就ての解剖的批評。そういう物だつて必要ではある。しかし小酒井不木氏とか松本泰氏、江戸川乱歩氏、横溝正史氏、アーサー、リーヴ、チエスタトン、ビーストン、ウエルシーニンというような、代表的作家の人物批評は、是これまた又大いに必要である。以上挙げた日本の作者等は（勿論その他にも著名な人はあるが）人物評論をされても可よい程、探偵小説界では働いている。どうだろう誰か此方面に、鋏を打ち込む者は無いか。作品を通して作者を見る——作者を通して作品を見る。これは両々ともなう可べきものだ。それにもかかわらず今日迄まで、よい作者論が出ていない。いささか不満の点である。

青空文庫情報

底本：「国枝史郎探偵小説全集 全一卷」作品社

2005（平成17）年9月15日第1刷発行

底本の親本：「新青年」

1926（大正15）年2月

初出：「新青年」

1926（大正15）年2月

入力：門田裕志

校正：Julki

2014年4月10日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

マイクロフォン

「新青年」一九二六年二月

2020年 7月18日 初版

奥付

発行 青空文庫

著者 国枝史郎

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>